

たかねざわ

議会だより

4

April.2019
No147

地域の伝統と絆の継承

「地域創生」へ



Contents

表紙写真：桑窪梵天祭り

- 第392回定例会のあらまし等 2
- クローズアップ新規注目事業 6
- 委員会審議（予算特別委員会他） 7
- 一般質問 安心・健康・活性化など7議員が町政を問う .. 14
- 特別企画 「議会報告会（中郷）（北小結社）」 .. 22



成31年度当初予算

「道の駅」構想！



3月定例会採決結果お知らせ委員会審議一般質問特別企画

「道の駅」元氣あつぷむら
令和2年4月オープンに向けて
今年度整備事業に着手！

道の駅登録	周辺施設整備
平成31年度 「道の駅」登録申請	平成31年2月 アドバイザー業務結果報告
平成31年度中に 「道の駅」登録決定の予定	平成31年2月末（定例会） 30年度補正予算 31年度当初予算要求
道の駅関連施設整備 (トイレ・情報提供施設)	平成31年3月上旬 地方創生拠点整備交付金 事業採択結果内示
平成31年2月末（定例会） 30年度補正予算 31年度当初予算要求	平成31年3月下旬 地方創生拠点整備交付決定
令和2年3月末 「道の駅」関連施設工事了	平成31年3月下旬～4月 地元説明会開催予定
令和2年4月 「道の駅」オープン	令和2年3月末 周辺施設整備工事了

第392回議会定例会のあらまし

今定例会は、平成31年2月26日から3月15日までの期間で開催しました。議案は、議員発議による平成31年度予算審議のため「予算特別委員会」設置、「監査委員の選任同意」、「災害弔慰金」に関する条例の一部改正及び「町職員」に関する条例の一部改正2件、「一般会計及び特別会計（国保・後期高齢・介護・駅西第一土地区画整理）及び事業会計（下水道・水道）補正予算」、「平成31年度一般会計及び特別会計（国保・後期高齢・介護・駅西第一土地区画整理）及び事業会計（下水道・水道）予算」、「調停の申し立て」などに加え、最終日に追加議案として「一般会計補正予算」が上程され、全20件の議案を審議しました。

また、一般質問は「防災」、「農業振興」、「市街化調整区域」、「がん対策」、「環境施設」、「予算編成」、「学校給食」などについて、7名が質問に立ちました。

「総務」、「教育福祉」、「建設産業」の常任委員会では、付託された議案を所管する担当課ごとに詳細かつ慎重に審議し、新年度予算は「予算特別委員会」にて、全議員で審議いたしました。

「元氣あつぷ公社取締役会」
6月末で自主廃業決定！

どうなる今後の経営は？

これまでの流れ

- 3月6日 取締役会を開き、自主廃業の方針を決定。
- 3月8日 JAが運営している「直売所」を閉鎖。
- 3月27日 臨時株主総会を開き、取締役会の方針を合意。
- 6月末 元氣あつぷ公社廃業。

町が再整備をし、新たな賑わいを創出して、元氣あつぷむらの再生につなげていく。

今後、公社での運営はせず、ノウハウのある民間事業者を選定し、指定管理として運営委託を考えている。

※ 廃業の最終決定は、営業終了に伴い、株主総会で決定されます。



町のシンボルの再生を期待！

「元氣あつぷむら」
上空からの
全景写真

平成30年度補正予算・平

注目は元気あつぷむら

**地方創生拠点整備交付金の
事業採択内示額が想定外の結果に**

元気あつぷむらの道の駅構想に向け、国に3億2992万円の交付金を申請したが、交付内示は1億9450万円となった。このため、補正7号により、総事業費を7億6050万円から4億9790万円に、2億6260万円を減額する補正予算が追加された。

この事業費の減額分は、31年度補正予算に組み入れ、当初から予定していた事業をすべて行うとの意思を町長が示しました。

3月補正第6号（交付金内示前） ※千の位は四捨五入して表記

事業名	内容	事業費	交付金
元気あつぷむら整備事業	・浴室等改装 ・機器類改修など	1億7250万円	7370万円
道の駅・滞在型施設整備事業	・情報発信館2階 ・グランピングなど	5億8800万円	2億5622万円
総事業費	7億6050万円	3億2992万円	

3月追加補正第7号（交付金内示後） ※千の位は四捨五入して表記

事業名	内容	事業費	交付金
元気あつぷむら整備事業	・機器類改修など	6960万円	2912万円
滞在型施設整備事業	・グランピングなどの 新設建屋	4億2830万円	1億6538万円
総事業費	4億9790万円	1億9450万円	

各議案に対する討論

平成30年度一般会計補正予算（第6号）

異例の賛成討論

元気あつぷむら再生事業に重しを乗せた討論を、4議員が登壇

討論者

鈴木利二
野中昭一
小林栄治
佐藤晴彦

※4名の意見を集約した内容を記載

① 今回、補正の要点は、喫緊の課題に対応するもの

② 市町村間競争に勝ち抜く地方創生を踏まえていること

③ 新たな事業計画に対応する財源の確保

④ 30年度の事業精算によるもの

の補正であり、妥当と判断できる。

しかし、「元気あつぷむら」の再生に向けた計画内容は、国の交付金額が決定しておらず、その額次第では、事業の再検討をし、将来に「つけ」を残さない形での事業転換を求めます。

町民の理解や意見の聴取は当然であり、官民ともに納得のいく事業構築を願います。

平成31年度
国民健康保険
特別会計

賛成討論

討論者

小林栄治

保険給付費の増加が見込まれ、医療費抑制や健康づくり増進への取り組みは大切で、財政健全化を図りながらも、地道な事業を展開し、各施策が着実に推進され、これらで以上の健全化が図られるものと判断しました。

反対討論

討論者 森弘子

「保険者努力支援制度」の取り組みは評価するが、滞納者への保険証取り上げは生命にかかわる問題であることや、住民の命と健康を守るため、資格証明書発行に対し反対します。

また、国保の制度上の問題や、多子減免制度・均等割・平等割の廃止を国に求めています。

この他、平成31年度当初予算で反対討論、平成31年度宝積寺駅西第一土地区画整理事業で賛成討論、追加議案で賛成討論がありました。

ワンポイント!!

Q

平成31年度一般会計当初予算で、町民の負担額っていくらになるの
なあ？

A

町民一人当たりの負担額は、34万6160円です。

議会費	3945円	農林水産費	2万834円
総務費	2万9355円	商工費	9395円
民生費	11万2180円	土木費	2万8648円
衛生費	4万986円	消防費	2万4946円
労働費	168円	教育費	5万3184円
公債費	2万1184円		

平成31年1月1日の人口2万9755人で算出

町民の負託に応えた各議員の賛否!!

平成31年3月定例会 議案と審議結果

上程された議案&概要 賛成：○ 反対：×	澤畑 宏之	高根 博	佐藤 晴彦	鈴木 伊佐雄	中山 喜美一	加藤 章	齋藤 誠治	梅村 達美	横須賀 忠利	小林 栄治	神林 秀治	森 弘子	野中 昭一	鈴木 利二	阿久津 信男	結 果	掲 載 ペ ー ジ	
平成30年度補正予算																		
一般会計（6号補正） 2億5379万円を追加、補正後の予算総額は114億2084万円	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	P8 P10 P12
一般会計（7号補正） 地方創生拠点整備交付金の内示に伴い、2億6260万円減額し、補正後の予算総額は111億5824万円	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
平成30年度特別会計補正																		
介護保険（5号補正） 歳入は保険者機能強化推進交付金410万円の追加、地域支援事業交付金261万円などで、歳出は介護予防・生活支援サービス事業費400万円の追加などによる補正で、補正後の予算総額は22億126万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決	
平成31年度予算																		
一般会計 予算規模は、103億円であり、前年度予算より、6億9700万円の減額	×	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	×	○	○	○	○	可決	P3 P6 P7
特別会計予算																		
国民健康保険 予算総額は27億1390万円、前年度より5.9%の増	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決	P3
後期高齢者医療 予算総額は2億7154万円、前年度より2.5%の増	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決	
介護保険 予算総額は21億6713万円、前年度より2.1%の増	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決	
宝積寺駅西第一土地区画整理事業 予算総額は1億1774万円、事業完了に近づき工事が減少したため前年度より57.1%の減額	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決	
請願・陳情（ ）は付託された委員会が判断した結果です。 その結果に対する各議員の賛否です。																		
100条委員会設置審議に関する請願 提出者：長部正信氏 紹介議員：横須賀忠利議員（不採択）	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	可決	P8
土づくりセンター存続に関する陳情 提出者：土づくりセンター利用組合（採択）	○	○	×	×	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決	P12
土づくりセンター継続稼働に関する陳情 提出者：JAしおのや高根沢地区園芸生産部会連絡協議会（採択）	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決	P12
臓器移植の環境整備を求める意見書の採択を求める陳情 提出者：移植ツーリズムを考える会（採択）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	P10
土づくりセンター継続稼働に関する陳情 提出者：御料会株式会社（採択）	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	可決	P12
精神障がい者に身体・知的障がい者同等の福祉サービス適用を求める陳情 提出者：クローバーハーツ癒しの夢工房（採択）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	P10
意見書																		
臓器移植の環境整備を求める意見書（採択）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	P10
精神障がい者も栃木県重度心身障がい者医療費助成制度の対象とすることを求める意見書（採択）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	P10
土づくりセンターの存続及び継続稼働を求める意見書（採択）	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	P12

※全議員賛成以外の議案を掲載。

臓器移植の環境整備や 精神障がい者に対する医療費の助成、 土づくりセンター存続に関する意見書提出

3月定例会採決結果お知らせ

委員会審議

一般質問

特別企画

特別企画



意見書QRコード

- 閉会中の継続審査となっていた請願・陳情5件と新規の陳情1件を付託された委員会が慎重に審議し、次の3件は本会議で採択となり、関係機関へ意見書の提出となりました。
 - 「臓器移植の環境整備を求める意見書」は衆参両院の議長及び内閣総理大臣、厚生労働大臣へ。
 - 「精神障がい者も栃木県重度心身障害者医療費助成制度の対象とすることを求める意見書」は県知事及び県議会議長へ。
 - 「土づくりセンターの存続及び継続稼働を求める意見書」は、町に提出しました。
- 各委員会の審査結果は、各委員会の審議報告のペー

ジに掲載しています。

各委員会の審査結果は、各委員会の審議報告のペー

「土づくりセンターの存続及び継続稼働を求める意見書」は、町に提出しました。

「精神障がい者も栃木県重度心身障害者医療費助成制度の対象とすることを求める意見書」は県知事及び県議会議長へ。

「臓器移植の環境整備を求める意見書」は衆参両院の議長及び内閣総理大臣、厚生労働大臣へ。

閉会中の継続審査となっていた請願・陳情5件と新規の陳情1件を付託された委員会が慎重に審議し、次の3件は本会議で採択となり、関係機関へ意見書の提出となりました。

傍聴者の声を町政へ



氏名 滝 孝子さん
住 ま い 大谷

先日、2回目の議会傍聴をしました。

それは昨年から主人が区長を引き受けることになり、班長さんと行事を行う中で、皆さんの心の中に「ご近所を大切にしよう、皆が参加しやすい地域にしよう」という気持ちに溢れていると、改めて感じました。

地域の関心が高まる中、初めて議会を傍聴した時、議員の皆さんが私たちの声をどのように議会に届けているのか、興味深く見させていただきました。

これからも私たち町民が、安心安全に暮らすための議論や提言をしてくださる事を議員さんに期待します。

そして、私自身も町政への関心を高め、必要な声を上げられる努力をして参りたいと思います。

今後も都合が合えば、傍聴していきたいと思っています。

今月の表紙写真を紹介します♪

今回は、桑窪で毎年開催されている「梵天祭り」取材してきました。このお祭りは、桑窪内の4つの集落が集まって開催しております。町の無形文化財に指定されており、地域の伝統を絶やさず、代々受け継がれてきました。

この伝統が続いてきた背景には、地域の方たちの「絆」や、世代を超えた深い結びつきがあると感じました。桑窪のような地域が町内全域に広がることを願います。



町監査委員の再任を同意

監査の仕事

町監査委員の寺田光夫氏が、任期満了になり、町が同氏を再び選任することに、同意しました。

● 監査制度は、行政サービスを行うにあたって公金が適正に収納され、また合理的に効率的に支出されたかをチェックする制度です。



寺田光夫 氏

● 監査委員の任期は四年で、主に、毎月の現金出納検査および毎年度二回に渡り、財務・経営に関する事務事業を監査します。

《2019年度 新規注目事業》

クローズアップ



元気あっぷむら道の駅登録及び
周辺整備事業 7億2917万円

再び活性化させる手段として道の駅登録をします。

24時間使用可能なトイレ・情報提供施設・親水公園にトレーラーハウス等を整備します。



健康づくりプロジェクト事業
50万円

ウォーキングとラジオ体操・町オリジナル体操を活用した運動習慣化により、健康維持を図ると共に、医療費の抑制につなげていきます。



施設園芸拡大プロジェクト整備
事業 600万円

県では、「園芸大国とちぎ」の実現に向け、大規模園芸施設に係る費用を助成する制度があり、これを本町でも活用し、県と町が一体となって園芸作物の活性化を図ります。

元気・健康・活性化を目指し 「くらし高まる」まちづくり事業に期待



犬猫の不妊去勢手術費用
助成事業 26万円

不妊去勢手術費の一部を助成するもので、1世帯につき1頭まで手術費用を助成します。

詳しくは、環境課まで
TEL 675-8109



デマンドバス試験運行事業
321万円

多くの町民に利用していただくため、混雑する時間帯にデマンドバスの台数を1台増やし、課題解決につながるか試験的に運行を行います。



防災無線デジタル化事業
2億7720万円

防災無線が聞こえにくい地区の解消を図るため、アナログ式からデジタル式に更新します。

「地域計画2016」

前期計画の総仕上げに向けた事業予算

平成32年度末までの目標達成のために重要な年と位置付ける

3月定例会採決結果お知らせ

委員会審議 一般質問 特別企画

予算特別委員会は、3日間に渡り、全会計を審議しました。

各議員からは、多くの質疑が出ましたが、今回は一部分を抜粋し、議会と行政の質疑のやり取りをご紹介します。

主な審議内容

産前産後サポート事業
予算額 840万円



産前産後サポート事業が前年度比で450万円ほど減額しているがその理由は？



健康福祉課長

前年度からの産後2週間・1か月健診、産後ケアを実施したが、実績数からして当初見込みよりも少なかったため、減額にした。

今年度は、産後の心身ケアと生活サポートを追加し更なる充実を図る。

ICT教育推進事業
予算額 3236万円



ICT教育の推進を図っている中で、今年度の環境整備はどの様にしていくのか？



学校教育課長

タブレットを321台、電子黒板を10台、ICT機器を31台導入し、学習環境の強化を図る。



タブレット

パソコンと共に整備されるタブレット

電子黒板と合わせ、子供たちの学びが向上することを期待。

雨水対策事業

予算額 100万円



北区の雨水対策
透透マスの設置で改善できるところばかりではないのが現状



前年度比で、116万円の減額となっているが、積算根拠は？



都市整備課長

今まで、町民からの意見をいただき、浸透マス等で対応を図ってきた。抜本的な改善が必要なところを除き、対応を図れた状況から、結果として減額した。

たかねざわ

スポーツフェスタ
予算額 194万円



事業の目的と、事業内容は？



生涯学習課長

町民の体力の保持・増進を図る事を目的とし、ウォーキング大会や運動能力測定などを行い、多くの方に参加してもらい、行くよう周知もろっかり行っていく。

土づくりセンター
維持管理費
予算額 1101万円



発酵槽テナントの解体費のみ予算だが、今後の方向性は？



産業課長

現在、簡易施設にするか廃止の2方向で検討しており、8月を目途に、方向性を決めたいと考えている。

元気あつぷむら関連
予算額 2億9057万円



元気あつぷむらの行く末はいかに・・・



地方創生拠点整備交付金の内示額が示され、それによる次年度予算への影響は？



元気あつぷむら課長

町が申請した交付金額は、3億2992万円だったが、内示額は1億9450万円だった。

差額は、町費でまかない、事業を全て実施する考えなので、次年度予算に影響する。

総務常任委員会 審議報告

主な補正予算

主な補正内容は、

歳入

- ・震災復興特別交付税
△1億8346万円
- ・墓地永代使用料
△276万円
- ・一般寄付金
△250万円

歳出

- ・塩谷広域行政組合
環境施設建設負担金
△1億8569万円
- ・生ごみ収集事業費
△1666万円
- ・東小学校跡地
利活用推進事業費
△400万円

- ・デマンドバス
運行事業費
△136万円

- ・人にやさしい
ユニバーサルデザイン
タクシー整備事業費
△30万円

が主なもので、その他額の確定による補正がありました。

3月定例会採決結果お知らせ

委員会審議

一般質問

特別企画

ふるさと納税

Q

「ふるさと納税」の減額とのことだが、これまでの実績と返礼品は？

A

総務課長

これまでの状況は163件で210万500円の実績であり、前年度同期比で、約30件減少し、返礼品は、にっこり梨が最も多かった。

デマンドバス

Q

デマンドバスの運行台数と利用状況は？

A

地域安全課長

14人乗り2台、10人乗り1台、運行しているタクシー会社の好意によりセダン型乗用車1台で運行している。
また、利用状況は、前年同期比約2000人減少した。

東小学校跡地利活用

Q

東小学校跡地利活用推進事業が進まなかった理由は？

A

企画課長

跡地利用の懇談会は2回開催し、教育長から報告書が提出され、結果として、年度内にその後の協議が整わないため、減額した。
次年度に再度予算を計上し、取り組んでいく。



どうなる旧東小学校跡地？

条例改正審査

勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部改正

内容

働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律が平成31年4月から施行されるのに伴い改正する。

質疑

Q

改正による業務の影響は？

A

総務課長

時間外勤務命令について、原則45時間、年間360時間の上限を規定するものである。
また、再任用職員を増やすとともに新採用職員も積極的に採用することで、職員を増員し対応していく。

請願

100条委員会設置審議に関する請願(継続審査)

審査経緯

今第392回議会定例会開会日に、「議案第19号 調停の申し立て」が議員全員一致により可決されたことを確認する。

調停申し立て内容

土地所有権確認請求事件の判決結果を受けて、土地売買代金の返還、交換について調停を求め、その解決のために土地の測量及び境界確認等について相手方に協力を求め協議し事業を進めていくものです。

審査結果

- ① 町が調停を進め、早期解決を図っている
- ② 個々の事例において具体的な証拠が示されていない
などの理由から、不採択としました。

「希望の持てるまちを後世に引き継いでいく」

公共交通・少子高齢化対策を調査

日常調査テーマ①

調査内容

公共交通に関すること

少子高齢化が進む地方都市、富山市では、人口減少が進み地域経済を圧縮し、さらに人口減少を加速させるという、負の連鎖になるリスクが大変高いと言われています。

今後の課題に対応するために、持続可能なまちづくりの実現を目指し、これまで公共交通を軸とした「コンパクトな街づくり」を政策の中心に置き、施策を展開してきました。

平成18年には「次世代路面電車LRT」を開業し、自動車がなくとも安心して生活が送れる都市機能を目指してきました。



富山市の公共交通

地域経営計画に関する少子高齢化対策

富山市の北方に位置する舟橋村は平成の大合併の中に入らず、独自の発想と施策で発展を遂げました。

日本一小さな村は、8年がかりで市街化調整区域を除外し開発を進めてきました。

平成25年には「人口問題プロジェクトチーム」を設置し、転入転出者の動向を分析。子育てファミリー層に着目し、人口増対策を進めています。

本町の現状

公共交通と少子化高齢化対策を、複合的に解決に導いている行政の姿勢について学ぶことができました。

本町の公共交通の現状は、鉄道はJＲ宇都宮線と、烏山線があり、道路網としては、国道4号線、県道10号線の幹線道路に加え、今後、新たに国道408号線が整備されます。

また、交通弱者対策としてデマンドタクシーが、

官民の協力により、運行されています。

10年後、20年後の将来を考えると、公共交通機関の連携や、町外へのアクセスなどを充実させることで、町民の多様な動向に対応できる町へなるのではと考えます。さらに、今後整備される「道の駅 元気あつぷむら」や、観光拠点となるべきところを連結させ、町の魅力度向上や来町する方が増加できるものと期待できます。

今後の方向性

今回の調査により、多角的視野の中で町づくりをしていく必要性や、多種多様な方との連携を図ることの重要性があることを、痛感しました。

当常任委員会として、将来に向けた町のあるべき姿を見据えた政策提言をしていきます。

そのために、町の財政健全化や、政策・予算編成について、合わせた研究・調査を行い、実現可能な政策展開につながるよう取り組んでいきます。



国道408号線

デマンドバス利用者数

平成26年	43,851
平成27年	46,900
平成28年	47,706
平成29年	48,590

教育福祉常任委員会 審議報告

主な補正予算

主な補正内容は、

歳入

- ・児童手当負担金 △1300万円
- ・私立、公立保育園児保護者負担金 △520万円

子どものための

- ・教育保育給付交付金 △1300万円

歳出

- ・プレミアム付商品券事務費 219万円
- ・児童手当給付費 △1308万円
- ・学童保育所整備事業費 △250万円
- ・小中学校施設修繕改修事業費 670万円
- ・図書館施設修繕改修事業費 △250万円

が主なもので、その他に職員の人件費、特別会計の繰出金等がありました。

一般会計 補正予算審議

エアコン設置

Q

なぜ、今議会でも補正を行ったのか？

A

学校教育課長

小中学校の音楽室と配膳室のエアコン設置について、12月議会で補正を行いました。積算見積もりを誤った為、今回補正をしました。



小・中学校の音楽室にエアコンが設置されます。

プレミアム付商品券

Q

プレミアム付商品券は、商工会で実施しているものとは違うのか？

A

健康福祉課長

国は、10月頃から実施する考えで、商品券の利用可能額は2万5千円。購入額は、2万円との通知が届いています。また、住民税の非課税者が対象になります。

学童保育所

Q

学童保育所整備事業費の減額理由は？

A

こどもみらい課長

当初予定した大規模な改修工事ではなく、簡易な工事に対応できるためです。

条例改正審査

災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正

内容

被災者支援の充実強化を図るため、災害援護資金の貸し付けに関する基準は、保証人を立てる場合・無利子。

保証人を立てない場合は据え置き期間中は無利子、据え置き期間経過後は年1.5%の有利子とするものです。平成31年4月1日より施行されます。

陳情に関する審議

臓器移植の環境整備を求める意見書の採択に関する陳情

主な意見及び審査結果

12月定例会で継続審査になっていましたが、臓器移植を国民にとって安全で身近なものとして定着させるため、意見書案に「法整備」、「環境整備」の文言を付け加えることで意見が集約され、賛成多数で採択しました。

精神障がい者に身体・知的障がい者同等の福祉サービス適用を求める陳情

陳情内容

身体・知的障がい者に適用されている栃木県重度心身障がい者の助成制度を、精神障がい者にも適用することを求めるもので、県及び県議会議長に対し、要望書の提出を求める内容です。

主な意見及び審査結果

身体・知的障がい者が受けているサービスとの相違点、他県との状況など、精神障がい者にも同様のサービスが必要との意見により、全員一致で採択しました。



日本臓器移植ネットワークホームページ QRコード



重度心身障がい者助成制度QRコード

教育福祉常任委員会日常調査中間報告

保育園運営の在り方に結論を出す！ 指定管理保育園を民設・民営保育園へ

日常調査テーマ①

地域コミュニティ推進による地域包括ケアシステムに関すること

日常調査

地域人材を活かし、また各種団体が連携した先進事例を持つ「三重県いなべ市」と「静岡県掛川市」を調査しました。

いなべ市では、「住民力」を活かした「元氣クラブ」を立ち上げ、高齢者の元気づくりのシステム構築について学び、掛川市では市全体を5つの日常生活圏域に分けて、「地域健康医療支援センターふくしあ」を各地域に設置し、介護・医療・福祉・保健の総合的支援地域拠点を構築した経緯について学びました。



地域での共助が必要不可欠な時代

今後の調査

地域の中で助け合いをしやすい制度設計や、地域力となる地域コミュニティの再構築など、多角的視野で、「地域包括ケアシステム」が、しっかりと築けるよう、先進事例等のやり方を含め、本町にあった制度の方向性を次年度に調査し、行政に提言できるよう取り組んでいきます。

日常調査テーマ②

保育園運営の在り方に関すること

日常調査

町内8つの保育園の実態調査と、上三川町と鹿沼市で、公営保育園を民営保育園に移譲した経緯を調査しました。

町内保育園

小規模保育園（0～2歳児保育）を除き、各園でスポーツや英語教育などを実施しており、保育サービスに大きな変化は感じませんでした。

しかし、指定管理保育園は、他の保育園と違い、契約期間での計画しか立てられず、中・長期的な計画が立てられないのは課題と捉えました。

他市町の事例

上三川町、鹿沼市では、保育園の施設更新や運営において、財政的支出や保育サービスの充実を図るため、公立保育園を民間保育園に移行しました。

「公私連携協定」を推奨

調査内容を踏まえ議論した中で、

結果としては、公営で行う場合には利用できない国・県の補助金等が使え、財政支出を抑える事ができたことや、利用者の満足につながる保育サービスの展開ができていた状況でした。

- ① 法人が倒産した場合の措置
- ② 保育の質を持続的に担保できるか
- ③ 土地・建物の権利をどうするか
- ④ 行政の関与はなど、様々な課題があげられました。

これらの課題解消できる保育運営制度を調べた結果、「公私連携協定」で契約をして、民間業者に運営を託す事が適切と判断し、2つの指定管理保育園を、民設・民営への移行は「妥当」との結論に至りました。

たから保育園視察風景



内閣府
公私連携制度

建設産業常任委員会 審議報告

主な補正予算

歳入

- ・農林水産業費 △500万円
- ・農林水産業県補助金 △400万円
- ・下水道事業補正 △2300万円
- ・都市整備減額補正 △8200万円
- ・町道87号線の減額 △500万円
- ・町営住宅使用料の減額 △110万円

歳出

- ・農林水産手数料 97万円
 - ・農林負担金 519万円
 - ・農業人材強化総合支援事業費補助会 1725万円
 - ・砂利道補修費委託料 641万円
- が主な内容でした。

3月定例会採決結果お知らせ

委員会審議 一般質問 特別企画

一般会計 補正予算審議

町道整備

Q

町道87号線の減額理由とは？

A

都市整備課長
町道87号線は、事業が完了し、額が確定したため、減額したものです。



工事が完了した町道87号線（寺渡戸地内）

町民が目にする元気 あっぶむら整備事業

「地方創生活拠点整備交付金」の増額補正は、平成30年度の国の補正予算による繰り越し事業で、この交付金を活用し、元気あっぶむらを整備するため、今回の補正に組み込んだものです。



写真は光陽台住宅

町営住宅

Q

町営住宅使用料の減額要因は？

A

都市整備課長

町営住宅は、入居者の使用料は見込みで予算化しており、入居者の所得状況から毎年3月に使用料を決定しているため、額の確定により減額となりました。

交付金の性質

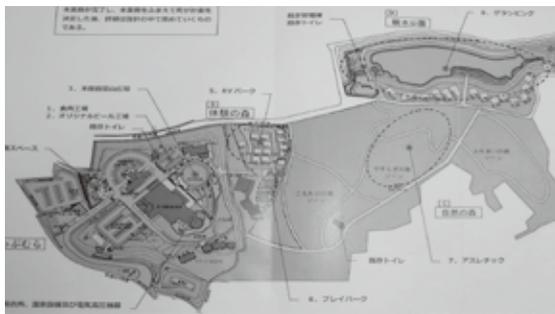
Q

繰り越し事業が、平成32年3月までに、終了しない場合の交付金返還はあるのか？

A

元気あっぶむら創生課長

整備事業が完了しない場合は、出来上がった部分までの「出来高払い」で、交付金が支払われるので一部返還はある。



元気あっぶむら整備計画のイメージ

陳情に関する審議

今後どうなる？
土づくりセンターの行方

説明

「高根沢町土づくりセンター利用組合」、「JAしおのや高根沢地区園芸生活部会」、「御料会株式会社」の3者から提出された、「土づくりセンター存続」等に関する陳情を継続審査としていた件を審査しました。

審議内容

産業課長出席のもと審査をし、「町として今後の方向性は簡易の施設への転換か、廃止としており、今後8月を用途に方向性を決めていきたい」との説明があり、委員からは「簡易な施設に転換しても、陳情内容の継続稼働とみなせる」などの意見がありました。

結果

全員一致で採択

農業改革に向け将来に向けたキーワード 「ICT」「植物工場」「担い手」を調査

農業の課題と展望

営農支援システム

植物工場

農業女子プロジェクト

農林水産省の調査によれば、日本の農業従事者数は年々減少し、全体の平均年齢も上昇しており、今後もさらに従事者の減少・高齢化が進むと予想されています。

そのため、農業就業者の高齢化・離農による耕作放棄地の受け皿として、「担い手」を中心とした農業生産法人へ、農地の集積が進むものと考えられています。

農業の大規模化やコスト競争力の強化、農作物の高付加価値化といった国内農業の成長に向けた取り組みは、今後ますます進んでいくものとみられます。

このような中、国内外の農業機械メーカーにより、新たな営農支援システムも開発されています。



ロボット技術を活用した田植え作業

ICT（情報通信技術）・GIS（地図情報システム）を活用し、農機の稼働情報と農家の圃場・作業・収穫といった情報を連携させ、様々なデータを一元的に管理・見える化を図り、農業経営の改善を可能としています。

実際に、パソコンやスマートフォンを利用し、圃場管理・作業記録・作業進捗・作付計画・食味・収量を一元管理するシステムが導入されています。

今後の農業が大きく変わると思われる再生可能エネルギーとITを駆使した水耕栽培の植物工場は、平面を使った農業から栽培の棚を何段も積み重ね空間を使う栽培方法です。

このため、
① 天候に左右されず、また地域を選ばず安定した野菜の供給ができる。
② 病原菌や害虫の被害が少なく、無農薬栽培ができる。

③ 連作障害が起きない。
④ 管理や作業をマニュアル化することで労働環境の性が期待でき、雇用支援にも有効。

このように様々なメリットがありますが、初期投資に多額の費用がかかるため経営判断が大変重要となります。

女性農業者が日々の生活や仕事、自然との関わりの中で培った知恵を様々な企業の技術・ノウハウ・アイデアなどと結び付け、新たな新商品やサービス、情報を創造し、社会に広く発信していくためのプロジェクトです。

このプロジェクトを通して、農業内外の多様な企業・団体と連携し、農業で活躍する女性の姿を様々な切り口から情報発信することで、社会全体での女性農業者の存在感を高め、合せて職業としての農業を選択する若手女性の増加を図ります。

農業女子の存在感を高め、経営力の向上、若い女性の職業の選択肢に「農業」を加えるというまさに人材育成のプロジェクトです。

調査での所感



企業と女性農業者のコラボ

農業技術革新は急速に拡大しますが、残念ながら業界全体の高齢化も進んでいます。

この現状から、まず農業者は、時代の変化を受け入れ意識を変えていく必要があります。

また、後継者を身内に頼らず、やる気のある人材を受け入れることや、さらに国及び地方自治体は、農業者が最新技術を導入しやすくすることなど、官と民が一体となって業界の改革をしていく必要があります。

町政を問う！

7人の議員が登場

- ◆佐藤 晴彦 議員…………… 15
 - ①「安心度が高まる」まちづくりを
 - ②防災意識・経験が高まる町へ
- ◆齋藤 誠治 議員…………… 16
 - ①農業を取り巻く様々な課題の打開策は
 - ②景況感が「下降している」理由は
 - ③公聴活動の取り組み状況と今後の展開は
- ◆澤畑 宏之 議員…………… 17
 - ①市街化調整区域での宅地供給は
 - ②地域振興作物の今後の展開は
 - ③SNS普及と思春期の子ども達への対応は
- ◆高根 博 議員…………… 18
 - ①がん対策への具体的な取り組みは
 - ②北区が抱える不安要素への対応は
- ◆横須賀忠利 議員…………… 19
 - ①東小学校プロポーザル方式契約と業務委託契約書は
 - ②塩谷広域行政組合次期環境施設整備事業の工事費は
 - ③町長が進めている施策と権限移譲の取り組みは
- ◆小林 栄治 議員…………… 20
 - ①新年度の予算編成は
 - ②町民ホールの有効活用は
- ◆森 弘子 議員…………… 21
 - ①安全な道路環境整備を
 - ②アレルギーの子に対応した学校給食の導入を

本紙では、■の質問を要約して掲載しています。

一般質問って？

一般質問は、町の行財政全般に関し、議員主導で政策的な論議をする場です。

議長が、質問と答弁がよくかみ合うように議事を進めるため、質問する議員も、受ける執行機関もともに十分な準備が必要です。

そのため、議員としては、質問の構想を練り理論構成をしてその要旨を議長に通告する通告制をとっています。

質問時間は、一人につき質問、答弁、再質問を含め60分以内です。

再質問は、一問一答方式で行っています。

傍聴

2月27日、28日 一般質問の傍聴者 11名

皆さんが選んだ議員の考えをリアルタイムで聞くことができます。

ぜひ傍聴にお越しください。

今回、傍聴された皆様、議会活性化アンケートのご協力ありがとうございました。

詳細は、[YouTube](#)や[DVD・会議録](#)をご覧ください。



会議録は、定例会及び臨時会の終了後、約2ヶ月後に発行します。

役場・図書館（中央館・仁井田分館・上高根沢分館）で貸出し、閲覧ができます。



問「安心度が高まる」まちづくりを

答【町長】情報提供を収集する仕組み作りを実施



佐藤 晴彦 議員



条例化



Q 本町は、景観計画で屋外広告物について触れているが、公衆への危害防止の観点から、条例化しては？



A 町長
屋外広告物の危険防止への取り組みとして、県などが主催する「屋外広告物講習会」や、「屋外広告物タウンミーティング」で、屋外広告物に関する知識の習得、安全点検のポイントを得る事ができる。

また、3年ごとの更新申請書類に「点検結果表」の提出が義務付けられていることから、町独自で条例化を行う考えはない。



鉄部が腐食した看板
危険要因は無くすべき

情報提供の対応



Q 町民や広告業者などへの理解・周知および危険な屋外広告物の情報提供による指導・是正ができる体制はできているのか？



A 町長
関係業者に対し、講習会等の周知はしている。町民への周知を図るため、広報誌やホームページを活用し、理解を進めていく。

また、町民からの情報提供があった場合には、指導できる体制は整っている。
今後、区長を通じた地域からの情報提供を収集する仕組み作りも実施し、危険な屋外広告物を発見した場合に、速やかに通報できる環境を整えていく。

問防災意識・経験が高まる町へ

答【教育長】次年度に「マイ・タイムライン」を授業で実施

「マイ・タイムライン」を授業で実施



指定避難所



Q 災害対応訓練の時に、指定避難所となる学校との連携・協力はできていたのか？



A 教育長
各学校には、災害発生状況に応じた行動基準がある。

今回は、被害状況を教育委員会に報告して、情報共有を行う訓練を実施した。
学校と避難所が連携する訓練は行っていないが、災害発生時の被災状況を確認し、教育委員会への報告体制が整っていることから、避難所開設の判断に結び付けられると認識している。

学校行事化



2月の災害対応訓練



Q 防災知識・経験を高めるため、災害対応訓練日に合わせて学校行事を計画しては？



A 教育長
地域住民が主体となっていく形の訓練に、地域の一員として積極的に参加できる環境が理想であるが、今回の訓練とは別に、学校行事として避難訓練を実施しており、知識と避難行動を体験し学んでいる。

現時点では、訓練日に合わせて学校行事を実施することは難しい。

防災・減災運動会



Q 過去の質問で、防災・減災運動会について検討するとの答弁があったが、検討は進んでいるのか？



A 教育長
現在の教育課程は極めて過密であり、現時点では授業時数の確保が難しく、今後さらに行事を設けることは厳しい状況である。
しかし、国土交通省が作成した、逃げ遅れを無くすためのチェックリスト「マイ・タイムライン」を授業に取り入れ、防災意識の向上を図る。



「マイ・タイムライン」説明動画

問 景況感「下降している」理由は

答【町長】「元気あっぷ公社」の経営悪化が要因



齋藤 誠治 議員



商工会の新規加入件数と退会件数

《平成29年度》	
新規加入	23件
退会	30件 (廃業22件・任意7件・その他1件)
《平成30年度》	
新規加入	14件
退会	14件 (廃業10件・任意3件・転出1件)

(景気状況はまだまだ厳しい)

デマンド交通「たんたん号の利用状況」
(児童を除いた数)

年度	8月	12月	4月~12月計
①H29	4,011人	3,987人	34,460人
②H30	3,582人	3,536人	33,467人
①-②	429人	451人	993人

(前年同期と比較すると約1,000人減少)

A 町長
「地方創生、ポスト平成に関する全国自治体首長アンケート」の調査である。今回新聞掲載された「景況感」は、「一年前と比べて、雇用、産業出荷数、飲食、観光客の動向などを総合した景況感はどうなのか」という問いに対して、「上向いている」「変わらない」「下降している」の選択肢から回答する内容である。

A 町長
「元気あっぷ公社の経営状況の悪化」がその回答を選択させた要因である。今年3月までの業績予想は5000万円の赤字になる見通しで、厳しいものとなっている。また、景況感を表す指標の一つにデマンド交通利用減少、年末のスーパーの利用者の減少が目立ったという報告をもとに下降の判断をした。

Q
共同通信が実施した「アンケート」の具体的な内容は？

Q
「下降している」と回答した理由は？

町長アンケート

元気あっぷ公社経営悪化

問 「公聴活動」今後の展開は

答【町長】「町政懇談会開催」は廃止、公聴事業は継続



A 町長
「あなたが主役のまちづくり懇談会」は、行政に対して、疑問に思うことや提案したいことなど、地域課題、要望を担当部署の職員と意見交換を行うもので、現在まで6回開催した。

あなたが主役のまちづくり懇談会開催実績

開催年度	開催回数	参加者数
平成25年	1回	26人
平成26年	1回	12人
平成27年	2回	30人
平成28年	1回	15人
平成30年	1回	4人
計	6回	87人

担当部署の職員が直接出向していることもあり、有意義な意見交換の場となっている。

A 町長
町政懇談会の目的は、町民の声を聴き、その声を町政運営に反映させることである。町長就任以降23回開催したが、参加者数が減少し、町政懇談会を開催する意義は乏しい状況と感じ、平成29年度に廃止を決定した。

A 町長
「町政懇談会」は廃止したが、「あなたが主役のまちづくり懇談会」のほか、町ホームページで、町民のご意見や質問を受け付ける「高根沢町ご意見板」もあり、これらの公聴事業を継続していく。また、町内の様々な団体から声がけを頂き、その機会に、町政に対する意見要望、提言など頂戴し、町民のニーズを今後の施策展開へ繋げていく場と捉えている。

Q
「町政懇談会」・「あなたが主役のまちづくり懇談会」における現在までの取り組み状況は？

Q
今後の展開は？

町政懇談会廃止

公聴事業継続

3月定例会採決結果お知らせ
委員会審議
一般質問
特別企画



問地域振興作物の今後の展開は

答【町長】対象作物選定の見直しは行っている



澤畑 宏之 議員

農業

町の特産野菜

Q

現在、地域振興作物は9品あるが、どのような観点から振興作物としたのか？

A

町長

地域振興作物を決定するには、町農業再生機構が、町水田フル活用ビジョンの中で設定し、最終的に関東農政局の承認が必要となる。

地域振興作物の選定理由は、

- ①主食用米と比べ、単位面積当たりの所得が高収益作物であること
- ②農協生産部会があり、栽培管理の統一を図り、共選・共販体制で市場での安定した売り上げがあることを勘案し、「いちご」「えだまめ」「ねぎ」「夏秋なす」「トマト」「春菊」「キュウリ」「玉ねぎ」「アスパラガス」の9品目を設定している。

特産野菜の展開

Q

今後、新たに振興作物とするのはどのような物か？

A

町長

地域振興作物は、一定の要件をもつて選定を行ってきており、毎年、町農業再生協議会で対象作物の見直しを行っている。

今後は、「作付面積や出荷数量、売上額が年々増えており、将来に地域の特色ある作物となる可能性のある作物」は、農協生産部会がない場合でも、生産部会と同じような生産者組織があるなどの要件を加味し、新たな地域振興作物として選定するかどうかを、検討する考

えがあるかと聞いている。



旬のいちご栽培風景

問SNS普及と、思春期の子ども達への対応は

答【教育長】継続的な事業展開と、

小中一貫教育での統一した計画作成

教育

ネット被害を防ぐ

赤ちゃんの力は絶大

心身の健全育成

Q

インターネットの危険から子ども達を守る学校指導は？

A

教育長

県教育委員会からの通知により、情報の持つ利便性と危険性を理解させ、情報機器の適切な使い方の指導を行っている。

Q

中学生と赤ちゃんのふれあい交流事業の内容と成果は？

A

教育長

中学校の総合的な学習の時間で、2年生を対象に『中学生と赤ちゃんのふれあい交流事業』を実施している。

Q

今後、思春期の子ども達を対象とした新たな事業はあるのか？

A

教育長

町は、情報の氾濫する現代社会の課題として、「性に関する教育の充実」を掲げ、小中一貫教育の中で、全小中学校が統一した計画を作成し、義務教育9年間を見通した、系統的な指導を行っているが、現在、町として新しい事業の計画はない。

内容を検討した。

今後、この啓発チラシを、各小中学校のPTTA総会等で、説明を加えながら配布する予定となっている。

今年度は、母親と赤ちゃん43組、妊婦4人、ボランティア26人の協力を得て、生徒が赤ちゃん

とふれあう体験をした。今後も、子育ての喜びや命の尊さ、家庭の絆の大切さを、思春期の生徒に感じ取ってもらえるよう、継続的に事業を取り入れたいと考えている。

3月定例会採決結果お知らせ委員会審議一般質問特別企画



問がん対策への具体的な取り組みは

答【町長】検診率向上のため

継続的に広報活動を行っていく



高根 博 議員



がん検診向上へ

Q 検診率の向上対策は？

A 町長

受診率向上の対策として、乳がん・大腸がん検診は、41歳から61歳まで、子宮がん検診は、21歳から41歳までの、5年刻みの節目年齢で、費用を無料としている。

未受診者へは、個別に受診を促すことや、日曜日の受診実施をしている。

また、子宮がん・乳がん検診は、集団検診だけでなく、医療機関でも受信できるようにしている。

さらに、受診に対し、不安のある方の解消に向け、がん検診の必要性や検診方法、受け方などが分かり易く記載したパンフレットを配布している。

町ホームページを活用し、対象者への広報活動も行っている。

平成28年度
＜町と県の受診率の比較＞

	町	県
胃がん	17.8%	21.2%
肺がん	21.9%	27.9%
大腸がん	21.5%	28.5%
子宮がん	25.1%	32.4%
乳がん	33.2%	29.9%

がん教育

Q 中学生に対するがん教育のあり方は？

A 教育長

現行の学習指導要領においては、がんについての明確な位置がされていなかった。

2021年の新要領では「がんについても取り扱うものとする」と明記され、今後、専門機関とも連携を取り学校教育全体を通して進めていくことが重要であると考えている。

問北区全体が抱えている不安要素への町の対応は

答【町長】“道路網整備計画”の策定を進め

北区の安全対策も合わせて整備を進める



北区の安全対策

Q 生活道路が狭く、袋小路の所も多くなる。

A 町長

また、災害時に一時避難できる大規模施設や広場がない中、町は安全対策を考えているのか？

常に高く、町が事業主体で行うことは現実的でないと考えます。

そこで、昨年度より「町道路網整備計画」の策定を進め、都市計画道路の整備や、既存道路の活用、北区の雨水対策と合わせ、宝積寺駅から東へ抜ける道路を新たな路線とした整備を計画に盛り込んでいく。

災害に関しては、整備を終えるのを待つのではなく、現在の状況を踏まえ、どのように自らの身を守るのかを、考え行動するかが重要であると考えています。

これらの問題解決には、土地区画整理事業による市街地整備が、最も効果的な手法と考える。

しかし、莫大な時間と、多額な費用が掛かるうえ、住民の賛同も必要であり、クリアするハードルが非



安心安全の対策が求められる
北区周辺の道路網



問東小学校プロポーザル方式契約と業務委託契約書の確認を

答【町長】確認なく押印



【教育長(委員長)】内容確認のうえ押印

横須賀忠利 議員

契約

復命書の確認

Q

第391回定例会で、委員長(教育長)は、「プロポーザル実施要領・審査基準決定は、平成28年1月7日付けの復命書」と、答弁しているが、町長と教育長は実施要領・審査基準と理解したうえで復命書に捺印したのか？

A

町長

復命書は、総務課の担当職員から「業者名を委員に公表し、審査しますが、それ以外の変更点はない」と報告を受け、審査要領・審査基準に関する復命書という認識はなく、押印した。

A

教育長(委員長)

事務局が作成した復命書が会議の内容と相違ないか確認して押印し、その後、町長に復命した。

業務委託契約書

Q

町が業者と結んだ業務委託契約条項が守られない場合、どのような措置をとるのか。

A

町長

業務委託契約条項が守られない場合、業務委託契約書約款に沿ったしかるべき措置をとる。

総則の第一条に、発注者及び受注者は、契約書に基づき、設計図書に対する質問回答書に従い、日本の法令を遵守し、履行しなければならない。

契約の条件

Q

守らなかった時の措置は？

A

町長

第43条の6のとおり、談合その他不正行為による解除を行う。

3月定例会採決結果お知らせ委員会審議一般質問特別企画

問町長が進めている施策と

県からの権限移譲の関連性は？

答【町長】栃木県権限移譲基本方針記載されていない

農地

「農地法(第4・5条)の権限移譲」

Q

農業振興地域整備計画、除外手続きは、権限移譲により決定は出来ないのか？

A

町長

農用地区域内の土地を農用地等以外の用途に利用するために、農用地区域から除外する、「農振除外」の手続きも、農業振興地域整備計画の変更に当ることから、県との協議及び県の同意が必要となり町単独で変更の決定を行うことはできない。

Q

農地法(第4・5条許可)を、県内の他の市・町では権限移譲を受けているが、なぜ取り組んでいないのか？

A

町長

農地転用を許可する際に、農地法やその他の法令等の十分な知識、正確な判断が必要であり、農業委員会は、県による許可が適当であると考える、町では権限移譲を受ける判断に至っていない。

許可基準



農振農用地の現状
町全体の面積は3724haです。



農地転用許可制度
QRコード



農業振興地域整備計画
農水省HPより
QRコード



問 新年度の予算編成は

答【町長】最優先は、元気あっぷむらの再生

予算



小林 栄治 議員



「高根沢城」は、皆様の来場を待っています。

予算編成

Q

新年度予算は、社会の喫緊課題や町の方向性を見据え、反映させなければならぬが、編成方針は？

A

町長

JR宝積駅を中心に「賑わい創出」「移住・定住」及び「創業支援」の取り組みを、町全体に波及させ、「元気あっぷむら」を拠点に新たな「賑わい」、人の流れ、「しごと創出」の取り組みを最優先事項として予算編成を行う。

予算配分

Q

今世紀は、医療福祉及び健康、環境、教育の時代と感じるが、予算配分はどうなるのか？

A

町長

医療福祉、健康は、介護サービスの一端で「配食サービス」を新規事業として行う。

「こども医療費助成」は継続実施し、子育て環境の充実を図る。また、働き盛りにはAIによる特定健診の受診勧奨を行い、生活習慣病を予防し、健康増進に努める。

教育は、電子黒板等のICT機器を整備し、機器の活用を図る。

ハード事業として、西小学校校舎の大規模改修を図り、安心して学べる環境を整える。

農・商・工対策

Q

農業、個人商店の衰退対策に係る予算配置は？

A

町長

高齢化や人口減少で、農業、商工業を中心に地域経済が深刻な影響を受けており「担い手および後継者の確保」に取り組んでいく。

農業は、「新規就農者確保事業」や「園芸振興事業」で、新規就農者のバックアップを図る。また、「農産物加工品ブランド化事業」で、開発や販売を支援する。

商工業は、「創業支援事業」や「クリエイターズ・デパートメント事業」で、経営者の育成を図る。

また、「販路開拓支援事業」で、新たな販路開拓に係る費用の補助を行っている。

問 町民ホールの有効活用は

答【教育長】芸術文化に触れる機会を多く提供

文化

町民ホール活用

教育・文化の振興

Q

町民ホールは、開館してから40年が経過したが、最近の活用状況は？

A

教育長

町主催事業は、音楽コンサート等の公演を年3回程度実施している。また、子ども達の発表や立志式の講演会、成人式、吹奏楽などの講座もを行っている。

Q

教育、芸術文化の振興を図る拠点として、今後の活用はいかがなものか？

A

教育長

建物、設備とも老朽化が進んでいるが、町民ニーズを的確に把握し、小規模でも質の高いものを提供できるように努力していく。



庄巻の「ハンガリー民族舞踏団」迫真の舞い
40年前の町民ホールこけら落とし公演



安全な道路環境整備を

答【町長】歩道橋の設置は考えていない



森 弘子 議員

道路

歩道橋の設置

Q

高根沢高校生や地域住民が利便性向上のため、仁井田駅と町道629号線を結ぶ歩道橋の整備をする考えはあるのか？

A

町長

過去に、栃木県へ歩道橋整備に関する要望を行った経緯はある。

また、平成27年7月に「知事と語ろう！栃木元気フォーラムin高根沢」で、参加者から同じ内容の質問があり、県知事及び県教育委員会から、町に「歩道橋の整備は行わない」との回答があった。

現在、仁井田駅から西側約200mの位置に第一文挾踏切を渡り、町道629号線へ安全・安心に移動できるよう整備され、仁井田駅の歩道橋を設置する考えはない。

跨線橋の整備



早急に跨線橋の拡幅工事を

Q

町道119号線の跨線橋は、JR宇都宮線を挟んだ東西を結ぶ駅西と光陽台、宝石台などの往来道路として、重要な道路橋だが、道路幅が狭く、いつ拡幅するのか？

A

町長

JR東日本と橋の構造に関する協議を進めており、平成29年度に概略設計を行い、平成30年度に地権者への説明、平成31年度は詳細設計を発注し、現時点では、工事時期の協議までは至っていない。

問アレルギーの子に対応した

学校給食の導入を！

答【教育長】他の給食センターを参考に検討

学校給食

小中学校の現状

Q

食へ物アレルギーを持つ子ども達が増え、学校給食で同じものを食べることが難しい状況です。学校給食のアレルギーの対応は？

A

教育長

学校給食センターでは、アレルギー物質を除去した給食や代替の給食の実施はしていない。

そのため、牛乳アレルギーの児童・生徒は、牛乳提供を停止し、自宅からお茶等の持参をお願いしている。

他のアレルギーの児童・生徒には、献立の内容により代替の食品を持参していただいている。

毎月配布している「給食献立予定表」には、食物アレルギー7品目を表示し、家庭で確認でき、希望する保護者には、アレルギー物質が表示されている「献立内容明細表」を配布している。

Q

食へ物アレルギーを持つ子ども達へ対応できる、学校給食センターの建て替え、または改修を行うては？

A

教育長

児童・生徒のアレルギーを調べ、原因となる原材料を使用しないカレーを、平成28年から7月と8月の年2回、「みんなが食べられる給食（ハートカレー）」を提供している。

他自治体の給食センターで分室がなくても、いくつかのアレルギーを除去した給食や代替の給食を実施しているところを参考に、改修が必要か判断していく。



改修が望まれる学校給食センター！

3月定例会採決結果お知らせ委員会審議一般質問特別企画



《中郷地区》

ルオープン

カフェ・ド・ギカイ

平成24年より回を重ねて、今回は10回目となります。

今回から皆様の地域に出向かせていただき、地域課題について一緒に話し合いをする懇談会に変更しました。

その時にいただいた意見に対し各委員会で審議した内容を一部ご報告します。

道路安全対策

町民意見

自転車道の安全対策をしてほしい

建設産業常任委員会

町道96号線は、防塵舗装のため歩行しづらく、また、水溜まりもできるため、これらの解消に向けた対策が必要です。

また、県道氏家上高根沢線は、大型車輛の交通量が多く、自転車道と歩道の区分が必要なため、この改善のため、行政へ提言できるよう取り組んでいきます。

肥料たんたんくん

町民意見

たんたんくんの安定供給はできるのか？

建設産業常任委員会

土づくりセンターの稼働停止により、農家の皆さんに代替堆肥を斡旋して対応しています。

現在、町は土づくりセンターを「簡易な施設にして整備する」または「廃止する」の二つの方針を打ち出しています。

今年の8月には、その方針が固まる予定になっており、先進施設等を研究してまいります。



稼働停止した土づくりセンター

農振除外

町民意見

農振除外をして住宅増加を図り活性化できないか？

建設産業常任委員会

農用地区域からの除外を行うことが大変難しい等、厳格に規制されています。

本町に住宅を増やすための農振除外が実施できるかどうか調査研究していきます。

暮らしやすい社会へ

町民意見

社会保障の確立をしてほしい

教育福祉常任委員会

社会保障として、「医療・年金・介護」と大きく3つに分類されるが、介護の部分に対し現状の分析を行い、継続的に調査をしていきます。

また、特別養護老人ホームの入所について待機者がいる現状があることから、その解消に向けてどのような対策が図れるかを研究し提言してまいります。

経済活性化

町民意見

景気動向が低い

総務常任委員会

景況感については、元気あつぷ活性化プラン、中小企業及び商店街の活性化対策や人口増加対策などの各種政策事業を町内外へ積極的に発信を行っていくことで、景況感上昇につながるよう、町へ要望してまいります。

地域活性化

町民意見

集落の過疎化が進んでいるが、その対策は？

教育福祉常任委員会

「みんなの学校」の中で、地域と学校の関わりを充実させ、上手に活用しながら、地域コミュニティの向上や郷土愛の醸成を図れる仕組みづくりを調査研究してまいります。

元気あつぷむらの今後

町民意見

道の駅の構想と内容は？

建設産業常任委員会

道の駅というブランド力を高めるため、回遊滞在できる機能として浴室・脱衣所の改修や本館前に店舗を含めた交流広場、親水公園にトレーラーハウスなどのグランピング施設を整備する予定です。

「元気あつぷむら」という拠点を利用する地域住民と、訪れる人が交流できる環境を整備することで、本町への人の流れの促進、住民の転出抑制につながる事ができるか調査研究してまいります。



親水公園にトレーラーハウス設置



《北小結社》



議会報告会
ホームページ
QRコード



議会報告会

人口減少対策

町民意見

人口が減少しているので対策してほしい

建設産業常任委員会

仁井田の市街化区域は、JR駅や郵便局、スーパーマーケット等、日常生活に必要なインフラが整った地区です。

道路の整備もほぼ完了している中、なぜ人口が減少しているのかの原因を研究していきます。

商店街活性化

町民意見

商店街がさびしい

建設産業常任委員会

ちよっ蔵広場を活用したイベントに、出店したお店へ空き店舗に出店して頂けるようアプローチしながら、クリエイターズ・デパートメントを利用して、お試し創業施設に入居しているお店へも、今後、仁井田地区の空き店舗へ出店して頂けるよう研究していきます。

高齢者福祉対策

町民意見

独居老人が安心して暮らせるよう対策を図ってほしい

教育福祉常任委員会

町では、指定の事業者と連携し「見守りネットワーク事業」の仕組みができており、また登録制の「見守り（ゴミ）収集事業」において、見守り活動を行っています。

このような事業を、更に充実できるように行政に提言すると共に、地域や関係事業者などが連携して支え合う「地域包括ケアシステム」の構築に向け、調査・研究をし、町民のご理解が図られるよう取り組んでいきます。

安全な道路整備

町民意見

市街地の道路整備は

建設産業常任委員会

仁井田の市街化区域は、一部の狭小な道路もあります。道路整備がほぼ完了しています。

狭小な道路の幅員を拡幅するには、地域住民の合意形成が必要のため、研究していきます。

雇用の創出

町民意見

働き口が少ないので企業を誘致してほしい

建設産業常任委員会

本町は、産業団地が少なく、働き口も多いたはいえません。

キリンビール所有地である広大な更地に、優良企業を誘致すべく調査研究をしています。

また、市街化調整区域に、工業用地を開発する行為については、栃木県との協議が必要なため、今後研究していきます。

農業担い手対策

町民意見

農業の後継者対策をどのようにしたらよいか

建設産業常任委員会

農業のイメージを変えていく必要があると思います。

従来の栽培方法や、販路に頼らない就農者も増えており、自分の作りたい野菜を作りたい方法で栽培し、インターネット販売で農産物を販売したり、個人経営のレストランに卸したりなど、農業をビジネスと捉えること。

また、ICTを取り入れ、これまでの作業工程を効率的に、そして簡略化し、収益を上げることができると研究していきます。

鳥獣対策

町民意見

キリンビール所有地の小動物対策をしてほしい

建設産業常任委員会

キリンビールが会社として、定期的に植栽等の管理をしています。



仁井田市街地内の狭小な道路

地域活性化

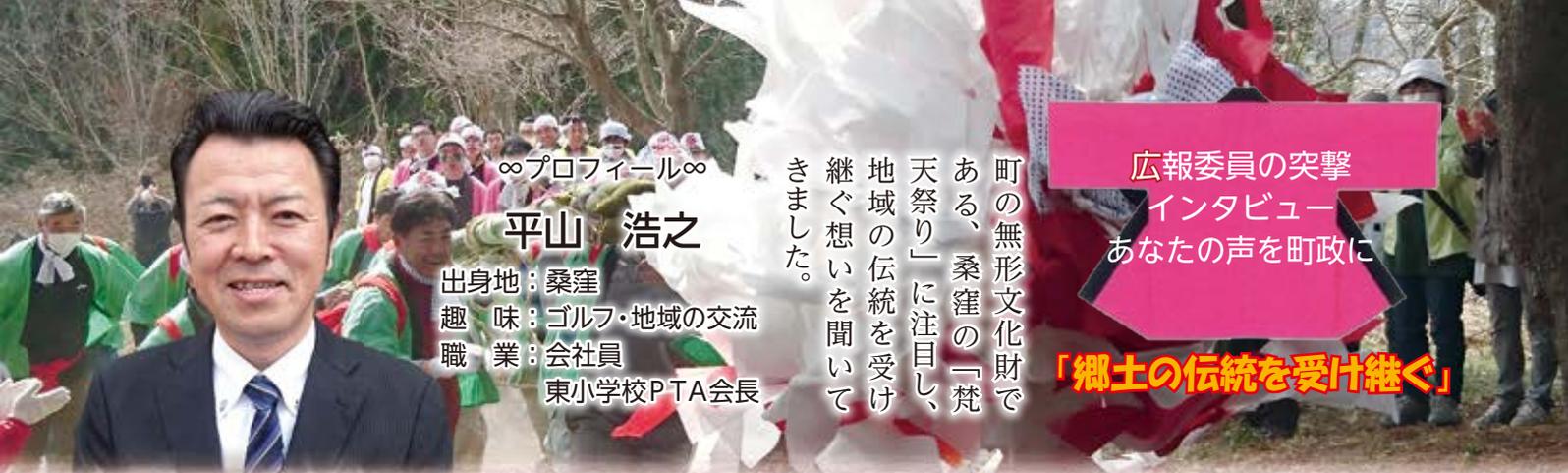
町民意見

地域に若い人が見当たらない

教育福祉常任委員会

地域に住み続けるうえで、「郷土愛」の醸成を図り、人と人とのつながりの中で共助社会の再構築をし、住み続けられる地域づくりにつなげていく必要があります。

4月から各小中学校で始める「コミュニティ・スクール みんなの学校」の中で、子ども達と地域住民が関わりあえる形を構築できるかを研究し、教育の場から地域自治について、課題克服できるように考えていきます。



広報委員の突撃

インタビュー

あなたの声を町政に

「郷土の伝統を受け継ぐ」

町の無形文化財である、桑窪の「梵天祭り」に注目し、地域の伝統を受け継ぐ想いを聞きました。

∞プロフィール∞

平山 浩之

出身地：桑窪
趣味：ゴルフ・地域の交流
職業：会社員
東小学校PTA会長



地域の伝統はみんなで守っていく！

地域の魅力

Q 平山さんは、生まれも育ちも桑窪との事ですが、住み続ける理由と、桑窪の魅力を教えてください。

A 桑窪で育っていく中で、郷土を愛する気持ちが強くなっていったこと、気心の知れた仲間達がいるからこそです。地域行事が盛んで、お年寄りから若者までがつながっている地域コミュニティが最大の魅力です。

地域の絆

Q 確かに「梵天祭り」を見て、地域の絆が強く感じられました。その要因は？

A 誰もが、伝統行事である「梵天祭り」を大切にしているからこそ生まれる、共通の思いがあるからだと思えます。

「梵天祭り」への思い

Q 平山さんにとって、お祭りに対する思いは？

A 梵天作りは、全て手作り、その中に代々受け継ぐものが沢山あり、地域を担う一人として、伝統を継承し、次の世代に受け渡す責任があるという思いは、大切に持ち続けています。



梵天祭り紹介 QRコード (町観光協会)

理想の地域

Q 理想の地域像は、具体的にどのような考えをお持ちですか？

A 地域コミュニティが盛んで、人と人とのつながりで、助け合い、協力し合える関係が、世代を超えて保っている地域だと思います。



仲間同士で化粧をしあう

東小学校跡地利用

Q 学校跡地をどのように活用されることを望みますか？

A 学校移転後の校庭が狭く、跡地で子ども達が外遊びや、スポーツを出来る形がいいです。

最後に

Q 高根沢町は好きですか？

A もちろん大好きで、生涯住み続けます！



伝統を引き継ぐ地域の子も達

取材を終えて

「梵天祭り」の取材で、準備から密着取材をして、改めて地域コミュニティの大切さを痛感しました。行政と住民が理解し合い、協力し合える町となれば、素晴らしい町づくりが出来ると思います。今後、議会としても「地域力 高まる 町づくり」を目指します。

暮らしの政治を見てみよう
議会傍聴へお越しく下さい
次回の定例会は6月5日～6月14日予定。
前号の2ページ掲載写真のキャプション「児童館みんなのひろばのようす」は、「学童クラブのようす」の誤りでした。お詫びして訂正いたします。

議会の情報をより早く皆様へ
次回の発行は7月20日になります。

「議会だより」掲載写真募集
写真は町内のイベントや人物、風景をとったものをデジタルデータ等で提出してください。皆様の応募をお待ちしています。(写真は返却いたしません)

一・
広報誌が
スマホで
見れて便利
「マチイロ」&
「栃木イーブックス」
を検索